

AAA NEWS

Kumamoto Advertising Agencies Association

熊本広告業協会ニュース

事務局/〒860-0848 熊本市南坪井町6番2号 (株)熊日広告社 内
TEL.096・327・3166 FAX.096・323・6381

第6号

朝日広告社熊本支社
アド・コム
アドスーパーブレン
共栄コア
熊日広告社

熊本エージェンシー
熊本毎日広告社
サンコーコミュニケーションズ
総合企画
大 宣

ダイヤ企画
TMプランニング
電通九州熊本支社
西広熊本支社
西日本新聞広告社熊本

ネットワーク
パーソンズフレックス
マックスファイブ
メディックス
ゆうプランニング

読売広告西部熊本支社

(50音順)

TKU (テレビ熊本)

「今からお出かけ！最新の気象情報をテレビでチェック！」「外出先でも携帯電話でノイズが少ないテレビが楽しめる！」。今年12月から地上デジタル放送が始まると、生活の中に占めるテレビの役割は、より大きなものになっていきます。私もTKUでも、親しみやすく役に立つ番組作りをモットーにデジタル放送の利点をどのように活用していくか、日々いろいろな意見を出し合っています。

お茶の間でテレビを見ながら番組の企画に参加できるような楽しい双方向サービスも計画中です。今までは一方通行になりがちだったテレビが、デジタル化によって視聴者が能動的に楽しみながら、暮らしの中で活用していくテレビへと進化していきます。TKUの地上デジタル推進大使を務める私、熊本愛英も地デジを応援しています。ご期待ください。



RKK (熊本放送)

デジタル放送の特徴はなんと言ってもハイビジョンです。高精細な映像でリアルな情報を伝えることを第一に考えています。そのため、地デジ開始にあわせて「夕方いちばん」「週刊山崎くん」をはじめとする自社制作番組のビュアHD化を進める考えです。制作設備としては、今年3月には最大8台のカメラが繋がるHD中継車がいち早く導入されました。10月にはテレビスタジオ、取材カメラ、編集設備もHD化されます。更に生中継が出来るようにFPU(無線中継装置)も導入されます。来年度以降も完全HD化へ向け引き続きニュース設備のHD化などが進められます。



また、今年4月に企画事業局が新たに設置されました。この部署を中心に、デジタル放送の多機能性を生かし、より一層地域に密着した情報サービスを展開し、視聴者の皆さんの期待に答えていきたいと思っています。

KAB (熊本朝日放送)

いよいよ地上デジタル放送が12月1日にスタートします。KABでは、昨年10月の新社屋移転に伴い、デジタル機器の準備はすでに整い、スタートを待つだけとなっています。とはいえ、現在はアナログの電波しか出ていないわけで、実際放送するとすると、相手が目に見えない電波だけに「完璧」な状態を目指して神経質なまでのチェックを繰り返しているところです。移転により一足早くデジタル機器に触れる機会をもてたことは、KABにとって大きな利点であったと思います。放送局では、地デジのスタートの作業をほぼ順調に進捗させ、2011年の地上波デジ



タル放送完全移行に向け作業中です。KABでは、日々新しくなる放送を取り巻く環境の中にあっても「一歩先」を歩む努力を全社的に惜しまず、デジタル時代の幕開けを迎えたいと思っています。

KKT (熊本県民テレビ)

KKTでは、デジタル放送がスタートする12月1日から、テレビタミンをはじめとする主要な番組をHD(高精細・ハイビジョン)で放送します。より美しくなる映像に加え、デジタル放送ならではの機能「データの放送」では、お問い合わせ先やレシピなどの文字情報がテレビの画面上で見られるようになります。ハイビジョンならではの臨場感溢れる映像とこれまでにはない便利な機能で、「見て楽しい・使ってうれしい」テレビタミんに進化します。また、築城400年に向けて本丸御殿の復元が進む「熊本城」、その歴史と謎に迫る「熊本城特番(仮)」をHD



で放送することも決定。2008年初頭に西日本12局ブロックネットでの放送予定で、県外へ向けても熊本を発信、着々と撮影を進めています。さらに、現在放送中のKKTキャンペーン「わたしの好きな熊本城」をはじめCMのHD制作も強力に推進し、CMの媒体価値向上に努めています。ネット特番も含め多くの時間でビュアHDの番組を放送するKKTにぜひご期待ください。

首都圏から実施されてきた、地上波デジタル放送(通称 地デジ)が本年12月1日から、この熊本県も本格スタートする。当面は現行のアナログとのサイマル放送となるが、それにとりもなう地元民放4局の現場の対応を聞いた。

地デジ本格スタート

元気な熊本は広告から！

この1年間、熊本には話題になった広告、役に立った広告、目立った広告などいろいろ登場しました。
元気なクリエイターと広告作品を、ほんの一部ですがご紹介します。

「熊本城築城400年祭」 シンボルキャラクター及びポスター



ひごまる

「熊本城築城400年祭」のシンボルキャラクター及びB全・B3ポスター・A4チラシを制作致しました。キャラクターは黒を基調にした切り絵風で、かわいらしい大きな目が特徴です。ポスターはインパクトある赤を基調に、墨絵風の熊本城を配し4本の黄色い円は400年を現しています。キャッチフレーズの書き文字も、制作しました。

ポスター



営業担当
営業本部 課長
山口 賢士郎



企画担当
企画本部 部長
松本 茂美

総合企画株式会社



週刊文春



電通九州・熊本支社
クリエイティブ担当
淵上 貞二

熊本県が取り組む「ユニバーサルデザイン」すべての人にやさしい街づくりを全国へ発信するシリーズ広告です。クリエイティブ担当は淵上貞二。老若男女すべての人に親しみやすくするために、「ちびまるこちゃん」でおなじみの漫画家・さくらももこさんを起用。絵日記形式の楽しい紙面づくりを心がけました。「週刊文春」などに4回シリーズで掲載され、大好評でした。

電通九州・熊本支社
熊本県・県外向け広報
「さくらももこさんの絵日記」



西広・熊本支社

ゆかた城下町、くまもとへ。



県外からのお客様に向けて「ゆかたの似合う城下町」をアピールするために昨年から始まった「城下町くまもとゆかたキャンペーン」を今年もお手伝いいたしました。今年は、ゆかた特典を満載した「ゆかたパスポート」を発行。また、ご宿泊のお客様へ対しての「ゆかたレンタルサービス」を宿泊施設や地元のNPO団体と連携して開始いたしました。広告表現だけでなくプロモーション的な取り組みを重視しています。

(財)熊本国際コンベンション協会
西広 高野一清

坂東玉三郎舞踊公演 新聞カラー広告



八千代座での坂東玉三郎公演の新聞広告。近年の新聞広告のカラー化に伴い、昨年より本広告も、西日本新聞全7段、熊本日日新聞全5段のカラー広告に。玉三郎ならではの美しさを読者にアピールした紙面となりました。

西日本新聞広告社熊本

広告業協会この一年。

広告セミナー

熊本広告協会との共催で毎年開催している「広告セミナー」が7月14日熊本市の市国際交流会館で行われ、県内の広告主、媒体社、制作会社、広告会社の関係者210名が参加した。

一部は、広告制作会社「HAKUHODO DESIGN」社長で、昨年の「クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を受賞した永井一史氏が「ブランドをデザインする」と題して講演。サントリ、日産自動車などの広告作品を例に「人の心の中に物語をつくること」が大切と説明。



講演後のパネルディスカッション

二部は、雑誌「宣伝会議」編集長田中里沙氏が登壇して「変わる生活者、変わる広告」というテーマでの講演があった。

2005年7月14日

新役員決まる

平成17年11月7日、熊本広告協会総会が開催された。前年度の「事業実施報告」「決算報告」と新年度の「事業実施計画案」「予算案」を全会一致で承認した。引き続き、役員改選を行い、新しい役員を選任した。総会後、賛助会員各社も参加して「懇親会」に移り、今後の業界の諸々について、情報交換を含めて懇談した。

新役員

- ◎会長 後藤 俊作(熊日広告社社長)
- ◎副会長 内藤 謙一(電通九州熊本支社長)
- ◎理事 深堀 聡(アド・スーパーブレン社長)
古閑 雅久(熊日アドセンター社長)
- ◎監事 木村 正夫(ゆうプランニング社長)
- ◎相談役 西山 喬(総合企画社長)
- ◎委員長 内藤副会長兼務
運営委員長 吉住雅明(アドコム社長)
事業委員長 吉住雅明(アドコム社長)
親睦委員長 佃俊治(ダイヤ企画常務)

'05年7月
▼
'06年6月

ボーリング大会

残暑の中、会員社より15社22チーム、媒体社より9社9チーム、総勢100名近くの参加で大いに盛り上がりました。各社対抗で団体戦、個人戦の熱い戦いが繰り広げられ、次のような結果となりました。男子個人はアド・スーパーブレンの原田選手、女子個人はアド・スーパーブレンの馬場選手が優勝、団体戦は総合得点で並んだ、アド・スーパーブレンチームと総合企画チームでしたが、総ストライク数の差で総合企画チームが激戦を制しました。その後、交通センターホテルで行われた表彰式ではビンゴ大会も行われ、和やかな雰囲気の中、幕を閉じました。

忙しい中、多数の参加をいただいた「第3回親睦ボーリング大会」、会員社各社と媒体社の友好を深める機会としても有意義な大会ではなかったでしょうか。若手もベテランもスポーツで汗を流し、「競い語る」広告業協会に明るい未来が訪れるよう親睦を深めていただいたのではないのでしょうか。



和気あいの各レーン

2006年4月21日

全国広告業団体連絡会議

日本広告業協会会議室(東京・電通銀座ビル)で、加盟25団体の内19団体の代表者が出席して「全国広告業団体連絡会議・後期情報連絡会」が開催された。これは、年2回(前期・後期)各地域の「広告業の現況」に就いて報告及び情報を交換しあうもので、各地の業界状況と意見が交換された。大方の地域で「回復基調」にあるという報告が大勢を占めたが、地域によるエポック等の事情の違いは明白で、各県において「温度差」が生じている。

また以下のテーマで情報が交換された。

- ◎広告費に関する課税問題
- ◎CMメタデータ運用プロジェクト
- ◎放送CM10桁コード共通コード管理センター
- ◎新聞広告業務における個人情報取扱い
- ◎仮称「アジア広告業協会」の設立

今回の連絡会はこの10月に開催される予定である。

2005年12月26日

広告供養

熊本広告協会と熊本広告協会の共催で第3回「広告供養」が開催されました。場所は熊本市花園の「本妙寺」で読経、木焼修法のもと、献杯、手締めで一年の広告物への感謝の供養が執り行われました。

当日は好天の中、広告主、媒体社、広告会社から約50名が集まり供養とともに来年の広告業界の発展も祈願されました。



広告物への感謝を込めて

2006年6月8日

親睦ゴルフ会

媒体各社と会員社との恒例「第7回熊本広告協会親睦ゴルフ会」が6月8日、くまもと城南カントリークラブで行われた。参加者は、4組16名。媒体社8名、会員社8名によるネット合計による対抗戦を実施。熱戦を繰り広げた。

雪辱に燃える会員社チームだったが、本年もネット合計で媒体社に大差をつけられ、あえなく敗退した。個人成績では、優勝がKAB営業部長の高田氏。準優勝に熊日の和田営業部長、3位TKU杉山局長と、何れも媒体社が上位を独占する結果となった。会員社では、電通九州・熊本支社笠次長のベスグロ80が唯一健闘したもの、その他は普段の実力を発揮できず、またハンデイにも恵まれない無念の結果となった。来年こそは会員社の奮起に期待したい。



またハンデイにも恵まれない無念の結果となった。来年こそは会員社の奮起に期待したい。

Living
ありがとう
20th

女性の暮らしを応援します

- ◆リビング新聞は仙台から鹿児島まで全国66エリア(版)、950万部をネットワークしています。
- ◆熊本配布部数/256,140部
日本ABC協会認証部数

熊本リビング新聞社
TEL096.359.3311 FAX096.311.1088
〒860-8511熊本市水道町8-6朝日生命熊本ビル8F
<http://www.livikuma.com/>

市民が主役のFM791

子どもラジオ局
in 鶴屋東館B1F

アナウンサーは小学生!!

毎週土曜
午後3時～
オンエア

FM791
<http://fm791.jp>

FMK
エフエム・クマモト

サンプライズ FMK

<http://fmk.fm>

熊本/77.4MHz 阿蘇/81.3MHz 南阿蘇/76.8MHz
小国/80.4MHz 人吉/82.0MHz 五木/81.3MHz
御所浦/78.4MHz 牛深/76.9MHz

Let's 5ch
DIGITAL KAB
06年12月スタート

熊本朝日放送
<http://www.kab.co.jp>
<http://www.kab.co.jp/i/>

KABファン倶楽部会員募集中!

ピッと送って、
パッとのる。

熊日朝刊
で見る

Web
で見る

ケータイ
で見る

くまにち
タウン・パケット

<http://packet.kumanichi.com>

毎日受付 毎日掲載

 熊日本国新聞

本社／熊本市世安町172 ☎096(361)3111